

えんぼとたんぼの始発駅 里山ビオトープ二俣瀬	会 報 第 106 号	2010年5月23日 里山ビオトープ二俣瀬をつくる会 編集責任者：西原 一誠
---------------------------	--------------------	--

1. 活動報告（事務局 記）

ー4月24日（土） 上宇部小学校 三好先生 メダカ研究 原田マ案内

ー5月2日（日）本日はゴールデンウィークの始まりにふさわしく天気も良く活動日和となりました。
16名の参加でした。水路の土手や、散策道の草刈を主に行いエコアップは中止しました。変わって水路の暗渠部での詰まりが注水を阻害しておりその場所の掘り起こしと修復に苦労しました。

ー5月15日（土）臨時活動、東屋周辺草刈、トイレ清掃、水路溝上げ 吉富匡、原田マ

ー5月22日（土）【大人の観察会】“野鳥観察”を行いました。
寺森会員講師による説明を受け参加者18名で3班に分かれ 同定（飛び方、鳴き方、模様、動作等にて種類を決定）を行い記録し発表しました。須賀河内川水門の下寄り木田橋、日吉神社、公民館、ビオトープを歩き探索しました。

2. 今後の予定（事務局 記）

◎ 見学者

- ー6月1日～3日 二俣瀬小学校低学年のビオトープ学習
- ー6月12日 福川こどもクラブ御一行（指導者募集中）
- ー7月17日 フジとキラメキ子どもエコクラブ一行様（指導者募集中）

◎ 行事

- ー6月 6日（日）維持活動（特に草刈とエコアップ）
- ー6月19日（土）観察会（昆虫）
- ー7月12日（月）中国電力（株）須賀河内川草刈ボランティア活動

3. 来訪者の声（東屋のノートより一部抜粋）

- ー5月4日（火）はれ
久しぶりにビオトープに来ました。あたらしいメンバーを紹介します。よろしくお願ひします。
女性 何にもできないわがままな女性ですが皆さんよろしくお世話してください。
後見人はトンボちゃんこと原 隆くんでーす！

4. 会員の声

【ビオトープの黄菖蒲】 内藤武顕

中性脂肪がやっと基準値に入った。散歩道は厚東川西、川辺葉桜の道から瓜生野の田んぼのド真ん中を抜け、新幹線までの片道2kmのコース。

春 一知らぬ間に 知らぬ子おりし 土筆摘むー と詠んだ農道はもうすっかり初夏。名もない草、名も無い花は刈り取られ爽やかな田園風景となる。間もなく田植え。「名もない草」という言い方がある。

草にはそれぞれ名前があるのに、草に失礼だと憤慨する人がある。〈だが・・・〉と作家 中沢けいさんが随筆に書いている。もとは人間が勝手につけた名ではないか。「名もなき草」と呼ばれるのと否応も無くお仕着せの名で呼ばれるのと、草にとってどちらが失礼な話なのかかわかったものではないと。

たしかに「ヘクソカズラ」や「オオイヌフグル」などは到底漢字ではかけない。草や花の中だって「シャクヤク」「ボタン」「ユリ」という類の名前をつけてもらいたいと思っているに違いない。とはいうものの「名も知らぬ草」「名も知らぬ花」でごまかしてきた身を顧みれば草花に疎いことで人生の楽しみを一つ棒に振ってきた様な気がする。

5月は緑の美しい季節。今ビオトープで一番目立っている花はキシノウエ今が盛りと咲いている。隅の方にも紫と白色のカキツバタ？が点在し、まるで絵具を混ぜたような風景となっている。夕陽の水車は10年間何もなかったかのように水を散らし、コットン、コットン回っている。帰り際犬の声が聞こえる。

東屋の方を見あげると原田事務局長の姿が蓮池の辺りに見える。蓮池の真ん中の鮮麗なキシノウエを眺めている。やはり名は体を表す？

それぞれの見かけてのスタイルはちょっとだけ異なりますが、微笑ましい組み合わせでした。私も体型をも少し絞ってみようと思った。さて一句 一夕日差す 池に黄菖蒲 直くと立つー

5. 大人の観察会 野鳥

5月22日 土曜日 9時～11時30分 晴 参加者19名 (寺森 正行 記)

今回は以前の子ども観察会とは趣向を変え、参加者に観察の基本を経験してもらう事を目的とした。まず参加者を3グループ(1グループ 5～7名)に分けて行動することにした。

観察の三大要素である ①目や耳で野鳥を見つける ②大きさ・形・羽色・鳴き声などの特徴から、図鑑で調べて種名を決める(同定) ③特徴や環境や種名を記録する。以上の3点を、各自で実施した後、グループで検討し最終的に種名を同定する。勿論、間違ってもかまわず、実行することが観察眼の養成になる。難しいものには、講師がヒントを出すことを開始前に告げた。

探鳥コースは駐車場・厚東川・二俣瀬小・神社・市民センターを經由し、ビオトープで鳥合わせをした。ハイライトは厚東川で、川面を低く一直線に飛ぶ白黒まだらな鳥を、一瞬だけ見られた。皆から種名が出ないのでヒント。「飛び方が何に似ているか?」「カワセミ!」と言う声で、図鑑でカワセミの前後をめぐってもらった、「ヤマセミ!」と見事に同定。

藪で囀るウグイス、空中で囀るヒバリは分かるが、ホトトギス・カワラヒワ・ホオジロの鳴き声での種名同定は無理のようだ。次回は開始前に、CDで鳴き声を聞いてもらった後、探鳥を始めるのも面白いかも?

鳥合わせで、各グループが同定した種名を発表し、まとめたのが下記の最右欄である。

	種 名	科 名	2004 年	2005 年	2006 年	2008 年	2010 年
			5 月 22 日	5 月 21 日	5 月 20 日	5 月 17 日	5 月 22 日
1	ダイサギ	サ ギ 科	○	○	○		○
2	コサギ	サ ギ 科		○			
3	アオサギ	サ ギ 科		○		○	○
4	カルガモ	ガンカモ科	○	○	○	○	○
5	ミサゴ	ワシタカ科	○				
6	ハチクマ	ワシアカ科	○		○		
7	ト ビ	ワシタカ科	○	○	○	○	○
8	キジバト	ハ ト 科	○			○	○
9	ドバト	ハ ト 科			○	○	○
10	ホトトギス	カッコウ科	○		○		○
11	カワセミ	カワセミ科	○	○	○	○	
12	コゲラ	キツツキ科		○	○	○	
13	ヒバリ	ヒバリ科		○	○	○	○
14	ツバメ	ツバメ科	○	○	○	○	○
15	セグロセキレイ	セキレイ科		○	○	○	○
16	ヒヨドリ	ヒヨドリ科	○	○	○	○	○
17	モ ズ	モ ズ 科			○	○	
18	ウグイス	ウグイス科	○	○	○	○	○
19	シジュウカラ	シジュウカラ科		○		○	
20	ヤマガラ	シジュウカラ科	○				
21	メジロ	メジロ科	○		○	○	○
22	ホオジロ	ホオジロ科	○	○	○	○	○
23	カワラヒワ	アトリ科	○	○	○	○	○
24	スズメ	ハタオリドリ科	○	○	○	○	○
25	ハシボソカラス	カラス科	○	○	○	○	s p
26	ハシブトカラス	カラス科	○	○			
27	チュウサギ	サ ギ 科				○	
28	オオヨシキリ	ウグイス科				○	
29	マガモ	ガンカモ科					○
30	ヤマセミ	カワセミ科					○
		観察種数	18	18	19	21	19

※ s p : カラスであるのは確認できたが、ハシボソかハシブトか判別できなかった

6. ビオトープ関連（ビオトープのトンボたち）（管 哲郎 記）

（24）ムカシヤンマ（ムカシヤンマ科）*Tauypteryx pryeri* (Selys)

原始的なトンボの種類に分類され、日本にはこの1種で日本特産種です。このトンボの特徴は幼虫の生息環境にあり、谷間を流れるコケの生えたゆるやかな流れの側面や、日当たりの良い崖（がけ）などで水がしたたり落ちる場所、コケ類が一面に茂っている環境で湿地性植物が多く、粘土質の泥土などに覆われた岩盤などの斜面、昔から環境に変化の無い場所、水温は低くきれいな水であること、などの条件が必要であり、池や川と違った環境に棲んでいます。

幼虫はコケや泥にトンネルを掘りますがコケのトンネルは長く、泥のトンネルでも20～30センチほどはあるようです。穴の入り口付近でじっとしていますが、体は水中に沈め頭だけ出してじっと外を警戒し、エサになる小昆虫などが近くを通れば捕食します。3～4年で羽化し幼虫はオニヤンマに似ていますが、成虫はむしろサナエトンボに似ています。大型のトンボでオニヤンマを少し小さくしたような感じです。

ビオトープの周りには数年前までは確実に生息していたのですが、羽化や羽化殻が数少なくなり心配です、今年も調査し確認したいと思っています。



巣穴より外をうかがう終齢幼虫



羽化（殻より抜け翅が広がり始める）



ムカシヤンマの♂



雌（♀）コケの中に産卵

7. 会よりの連絡事項 （ 事務局より ）

新入会員のお知らせ

藤本サキミ さん

宇部市東岐波 電話 58-5565

8. 編集後記

好天に恵まれた5月2日の作業に参加した。4月の長雨で生い茂った雑草を会員みんなで手分けして刈ったり、水路の土手に山ほど落ちていた枯葉をガンジキで集めたりした。汗ばむほどの陽気のなか、黙々と草を刈るだけなのだが、皆で手入れをして小ざっぱりとしたビオトープを見ると、なんとも気分が爽快になった。こうして手をかける人がいてこそ、里山は維持されていく。この日は、水路の詰まりを修復するため、該当部分の掘り起こしをするなどの大変な作業もあったが、苦労のあと、水路に勢いよく水が流れ出すと、会員一同喜びの声をあげた。

新緑のなかで健康的に汗をかく。作業もまた楽しいものだと、改めて思った。みなさん、お疲れ様でした。

（ 中本 亜矢子 記 ）

前回の大人の観察会で食べた野草の天ぷら、アザミは食べれる事になってましたよね、食べてみましたがあれは駄目でしょ、おもいつきり刺さりましたよ歯ぐきに、あれは食べれない野草です。

（ 若林 正治 記 ）